

ふじのくに 静岡みなと通信

第27号
2018.1.23



客船「スーパースター ヴァーゴ」清水港初寄港(平成29年7月10日)

～ 目次 ～

- 静岡みなと通信「第27号」発行に寄せて(湖西市長)..... 1
- 静岡県港湾振興会の活動報告..... 2
- クルーズ船誘致に向けた静岡県の取組..... 3
- みなとニュース..... 5
- みなと自慢(御前崎港・榛原港・相良港)..... 11
- 港こぼれ話..... 13
- 港湾関係行事予定..... 15



みなと通信「第27号」発行に寄せて



静岡県港湾振興会評議員
湖西市長 影山 剛士

四方を海に囲まれたわが国において、港湾は古くから貿易・観光・漁業の拠点として日本の経済や私たちの暮らしを支えてきました。

近年においては、大規模災害時に救援物資等の海上輸送の基地としての役割など、数多くの方面から重要な役割を担っております。

湖西市に位置する浜名港は、浜名湖と遠州灘をつなぐ今切口に位置し、東は浜松市と接する静岡県西部で唯一の港湾であります。利用船舶は漁船が中心で港湾区域内にある舞阪漁港とともに重要な水産基地となっています。

江戸時代、湖西市の新居地区は、浜松市舞阪と新居を結ぶ今切渡船の渡船場が整備され、東海道の海の関所「今切関所(現 新居関所)」が設置されてきました。今でも新居関所は全国で唯一現存する関所建物として、国の特別史跡に指定されています。現在、周辺施設の復元整備事業を行っており、完成すれば江戸時代の関所の姿を見ることができます。

また、今切口には、四季を通じて豊富な魚種が楽しめる「海釣公園」や、海と湖に関する体験物産施設「海湖館」などの海と湖の両方を満喫できる観光施設があり、「海湖館」では、毎月第1土曜日に「海湖館朝市」を開催し、遠州灘産シラスや浜名湖産の牡蠣などの販売を行い、毎回多くのお客様にご満足いただいております。浜名湖沿いには、プレジャーボートを係留する公共係留施設が数多く整備され、海洋レジャーの拠点として、毎年県内外から多くの方々が訪れ賑わいをみせております。

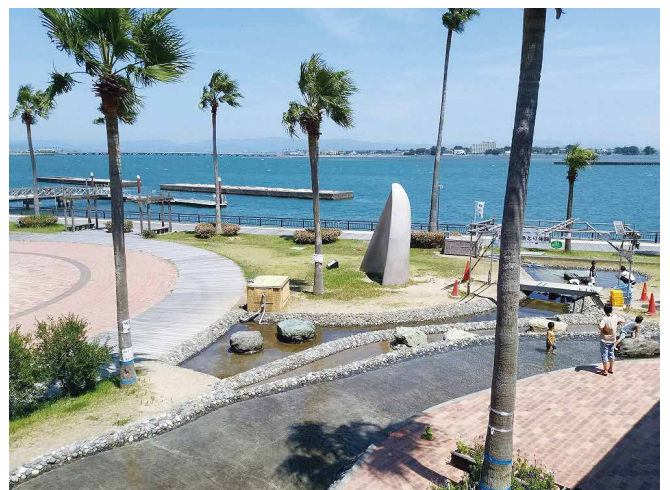
私たち「静岡県港湾振興会」は今後も、港湾や海岸の整備を積極的に進めていくとともに、本誌や本会の活動を通じて、多くの皆様に港湾施設の整備と利用促進に対して一層のご理解、ご支援を賜れば幸いに存じます。



今切口



海釣公園



海湖館から浜名湖を望む

静岡県港湾振興会の活動報告

日本港湾協会の平成29年度定時総会に出席

平成29年5月24日(水)、兵庫県神戸市の神戸ポートピアホテルで日本港湾協会の総会が開催され、当振興会からは柳澤副会長(御前崎市市長)、中野焼津市長をはじめ19名が出席されました。

総会では、港湾功労者表彰式が行われ、静岡県の港湾の振興にご尽力された、鈴木武彦様、齋藤善計様、桜井孝洋様が受賞されました。



定時総会

静岡県港湾整備促進大会を開催

平成29年7月13日(木)、静岡市清水文化会館マリナートにおいて、多くの港湾関係者や行政関係者等の御参加をいただき、港湾整備促進大会を開催しました。

田辺会長(静岡市長)のあいさつの後、山田県議会副議長、難波静岡県副知事をはじめ来賓の方々からごあいさつをいただきました。

御出席をいただいた柳澤御前崎市市長、西原牧之原市長、齋藤熱海市市長、齋藤松崎町市長、星野西伊豆町長から「地域の声」と題して意見発表をいただき、大会の最後には、「静岡県の港湾整備の促進に関する要望」を満場一致で決議し、関係各方面に対して運動を展開していくこととしました。

また大会に先立ち、TSJ静岡ツーリズムビューロー ディレクター 府川尚弘氏を講師にお迎えし、「日本が国際クルーズデスティネーションとなった時代のツーリズムマーケティングとTSJの活用」と題して、御講演をいただきました。



田辺会長(静岡市長)あいさつ



西原副会長(牧之原市長)による決議文の読み上げ



講演会の様子

経済と暮らしを支える港づくり全国大会に参加

平成29年10月26日(木)、東京の砂防会館において、日本港湾協会、全国港湾知事協議会、全国市長会港湾都市協議会、日本港湾振興団体連合会、港湾海岸防災協議会の港湾関係5団体による実行委員会が主催する、「経済と暮らしを支える港づくり全国大会」が開催されました。

当振興会からは田辺静岡市長、小長井富士市長、柳澤御前崎市市長、大沼沼津市長、齋藤熱海市市長、福井下田市市長をはじめ37名が出席されました。

大会では、来賓として多数の国会議員をお招きし、各地区の港湾所在市町村長の代表による港湾整備・振興に関する意見発表、港湾整備の推進に向けた決議が行われ、当振興会の田辺静岡市長が、クルーズ拠点形成等について、意見発表を行いました。

大会に先立ち、ホテルグランドアーク半蔵門で東海地区港湾協議会主催による国会議員との懇談会が行われ、御出席をいただいた市町村の代表が意見発表・要望を行い、港湾整備への支援を訴えました。

大会終了後は、県内選出の国会議員へ要望活動を行いました。



経済と暮らしを支える港づくり全国大会の様子

クルーズ船誘致に向けた静岡県の取組

静岡県港湾企画課

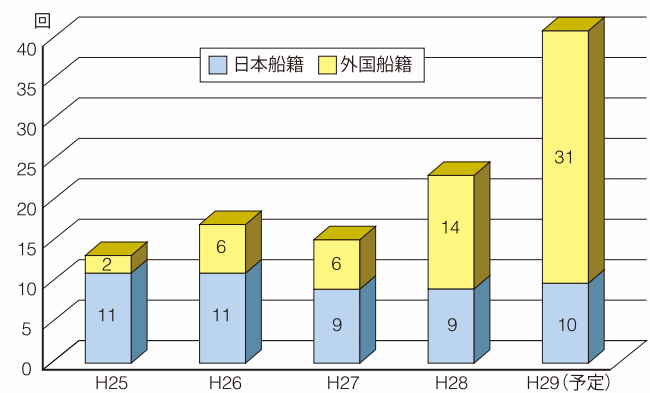
クルーズ船誘致に向けた全県的な取組

平成29年における県内港湾へのクルーズ船寄港回数は、昨年を大きく上回る41回を予定しています。

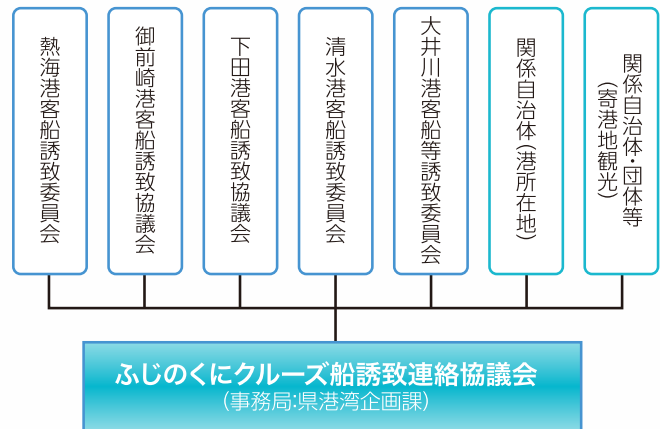
県内港湾への寄港回数が増加し関心が高まる中、各港湾でのクルーズ船誘致の機運が高まり、新たなクルーズ船等の誘致組織が設立されました。

県ではこれらクルーズ船等誘致組織が連携し、より効果的な誘致活動を展開できるように全県的なクルーズ船誘致組織である「ふじのくにクルーズ船誘致連絡協議会(Cruise Shizuoka Japan=CSJ)」を平成29年7月10日(月)に設置しました。また、県内5港湾(清水港、田子の浦港、御前崎港、熱海港、下田港)をモデルケースとし、各港湾の特性を考慮した戦略を展開するため「ふじのくにクルーズ船誘致戦略」を策定しました。今後、関係市等と連携し、この誘致戦略に沿って、県内へのクルーズ船誘致を進めてまいります。

県内クルーズ船の寄港数推移(暦年)



「ふじのくにクルーズ船誘致連絡協議会(CSJ)」組織図



清水港における国際クルーズ拠点形成に向けた取組

県内港湾の中でも特にクルーズ船の寄港数の多い清水港は、平成29年7月26日(水)に「国際旅客船拠点形成港湾」に指定され12月6日(水)に「清水港 国際旅客船拠点形成計画」を策定・公表しました。今後は、国際クルーズ拠点を形成するため、世界第3位のクルーズ船社であるゲンティン香港と連携してCIQ施設を備えた旅客船ターミナルの整備や国と協力して2隻同時接岸を可能にするための岸壁の改良などを行ってまいります。

※ゲンティン香港

世界シェア第3位のアジア最大のクルーズ船運営会社であり、本社を香港におく。傘下には、「スタークルーズ」、「ドリームクルーズ」及び「クリスタルクルーズ」の3つのクルーズブランドを持ち、清水港には、クリスタルクルーズとスタークルーズの船が寄港している。

静岡県へのクルーズ船の寄港情報

本年も3隻が記念すべき初寄港となりました。

クルーズ船寄港の際には沢山の県民の方々がお出迎え、お見送りに参加していただきます。乗客の方々も県民の皆さんとの交流を楽しんでいる様子が港のあちらこちらで見受けられます。



☆ドーン・プリンセス☆

(平成29年4月16日:清水港寄港)

- 総トン数:77,441t ●全長:261.31m
- 全幅:32.25m ●初就航:1997年
- 船籍:バミューダ ●乗客定員:2,250人
- 乗組員数:900人 ●客室数:975室
- 運航会社:プリンセス・クルーズ

☆シーボーン・ソジャーン☆

(平成29年5月7日:清水港寄港)

- 総トン数:32,346t ●全長:198.19m
- 全幅:26.00m ●初就航:2010年
- 船籍:バハマ ●乗客定員:462人
- 乗組員数:330人 ●客室数:225室
- 運航会社:シーボーン・クルーズ



☆スーパースター ヴァーゴ☆

(平成29年7月10日:清水港寄港)

- 総トン数:75,338t ●全長:268.60m
- 全幅:32.20m ●初就航:1999年
- 船籍:バハマ ●乗客定員:2,800人
- 乗組員数:1,225人 ●客室数:935室
- 運航会社:スタークルーズ
- 11月27日まで毎週月曜日に寄港



清水港においては、クルーズ船の寄港に合わせて歓迎演奏や静岡県内のお土産・軽食などの販売等のイベントを実施しています。今後も継続的にクルーズ船が寄港しますので、ぜひクルーズ船を見に港へお越しください。



みなとニュース



ロシア軍艦“ディアナ号”救助の歴史を伝える歴史的教育施設が完成

静岡県港湾整備課

田子の浦港・富士地区の「ふじのくに田子の浦みなと公園」に、地元との協働により整備を進めてきた「歴史的教育施設“ディアナ号”」が完成し、関係者列席のもと平成29年3月28日(火)に開設式が行われました。オープン以降、5月の大型連休期間中には6千人を超える来場者を迎えるなど、多くの方々にご利用いただいています。

ロシア軍艦“ディアナ号”の外観を模した本施設は、幕末の日本に来航し、富士の沖合で難破したディアナ号の乗組員に対し、地元住民らがとった救助活動の歴史を次世代へ継承することを目的とした歴史的教育施設です。ディアナ号にまつわる歴史のほか、富士海岸における自然災害の脅威についてパネルや映像を通して学べる施設となっています。

開設式当日は、当公園を管理していただいているNPO法人みなと・まち育て田子浦に対して“しずおかポートサポーター認定式”も行われました。今年度末には、交流拠点施設(シンボルタワー)の完成も予定されており、今後さらなる交流促進が期待されます。



開設式の様子



歴史的教育施設“ディアナ号”全景



展示室内の様子

「ヒアリ」を侵入させないために

静岡県清水港管理局

平成29年6月18日(日)に神戸港において国内で始めて確認された「ヒアリ」は、平成29年8月27日(日)には清水港のコンテナターミナル内でも確認されました。

「ヒアリ」は体長2ミリから6ミリ程度の茶褐色の蟻で、たいへん強い毒を持ち、刺されるとアレルギー性のショックを起こす恐れがあるたいへん危険な外来生物です。中国南部などの暖かい地域の港から来たコンテナに入り込み、国内に侵入します。

清水港では、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」の岸本年郎准教授の指導を得て、港内のパトロールや「ヒアリ」が発生したエリアでの毒エサ、捕獲ワナによる防除活動を行うとともに、「ヒアリ」の生息を防ぐため、舗装のひびを塞ぐ補修等を行っています。

コンテナ貨物を利用する事業者の皆様は、万が一、「ヒアリ」と疑われる蟻を発見した場合は、直ちに殺虫剤で駆除し、最寄の市町又は県自然保護課に通報するようお願いします。



岸本先生同行によるパトロール



アスファルトを掘り起こしての駆除作業

駿河湾をテーマにした海洋科学展示コーナー 「日の出マリンギャラリー」の開設

清水港振興株式会社

国外を含め、様々な場所から清水港を訪れる方々に、海に関する知識を増やし、好奇心を高めていただきたいと考え、私たちは、静岡県の協力を得て、平成29年8月4日(金)、清水港日の出埠頭にある清水マリンターミナル1階に「日の出マリンギャラリー」を開設しました。

ギャラリーには、関係機関の方々から出展していただいた、多くの貴重な収蔵品を展示しています。

展示しているものは様々で、国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)からは、地球深部探査船「ちきゅう」や大深度有人潜水調査船「しんかい6500」の紹介映像、潜水調査船等で撮影した深海の魅力あふれる映像、東海大学海洋学部からは、駿河湾の構造が理解できるジオラマモデル、タカアシガニの標本、駿河湾の深海映像、他にも、エスパルスドリームフェリーからは、深海生物の精巧な模型などを出展していただいています。

入場料は無料です。清水港へ寄った際には、海にまつわる魅力ある資料の数々を、一目見に是非お越しください。



日の出マリンギャラリー



駿河湾模型



「ちきゅう」などの精巧な模型

御前崎港のコンテナヤードにコンテナ洗浄施設が完成

静岡県港湾企画課

平成29年8月下旬、御前崎港において、西埠頭コンテナヤード内コンテナ洗浄施設の改修工事が完了しました。

これまで、簡単な水洗いのみを行うための施設でしたが、新たに完成した施設は、洗浄水から油分を分離させる分離槽などを備えているため、洗浄剤を用いて油污等を洗浄することも可能な施設となりました。処理能力は、1日に40フィートコンテナ10本程度を見込んでいます。

御前崎港は、輸送機器等をはじめとした機械部品の取り扱いが多く、関係者からコンテナ洗浄施設の機能向上についての要望が多く寄せられていたため、その声に応える形で、施設の改修を行いました。

当該施設の完成により、より一層、御前崎港の利便性は向上することとなりました。引き続き、機能的で使いやすい港となるよう整備を進め、集荷の促進に努めてまいります。



完成したコンテナ洗浄施設

清水港テルファーライトアップ ～海と光の空間 Sea Light Harbor～

株式会社ドリームプラザ

エスパルスドリームプラザ海側デッキでは、平成29年11月11日(土)から、国登録有形文化財である「清水港テルファー」のライトアップをはじめとするイルミネーションがスタートし、きらびやかな景色が広がっています(16時から24時まで)。

「清水港テルファー」は、国鉄清水港線で木材を貨車に積み込む荷揚げクレーンとして、昭和3年(1928年)から昭和46年(1971年)までの43年間活躍しました。現在は役目を終えています。現在は、テルファー形式の木材荷揚げ機械としては日本に現存する唯一のものです。

清水港のシンボルとも言える国登録有形文化財の幻想的なライトアップ(常時点灯)と、イルミネーションや音楽の連動が織りなすダイナミックなショー(定時開催)が、訪れる人の目を楽しませています。本年度は、動く魚影やミラーボールなどが加わり、「清水港テルファー」がより一層華やかに彩られます。

また、エスパルスドリームプラザの海側デッキ・館内各所については「清水港 海と光の空間」をコンセプトに、アクアブルーとホワイトを基調としたイルミネーションで彩られています。

清水港冬のイルミネーションは、平成30年2月28日(水)まで開催しています。皆様ぜひ華やかなイルミネーションをお楽しみください。



清水港テルファー



「清水港 海と光の空間」がコンセプトのイルミネーション

合言葉は「踊りがまちを揺らす 踊りがまちを変える」

第17回踊夏祭・第12回大井川港トライアスロン大会

焼津市建設部大井川港管理事務所

平成29年7月16日(日)、焼津市大井川港特設会場で「第17回踊夏祭(おどらっかさい)」と、同時開催の「第12回大井川港トライアスロン大会」が行われ、市内外より2万5千人を越える来場者で賑わいました。

踊夏祭は、旧大井川町の時代から毎年開催されている一大イベントで、「三世代交流の場」「市民総参加のイベント」を市民の手作りで開催していくと同時に、来場者へのごみの分別、持ち帰りによる環境への意識向上と、喫煙者へのマナーアップの呼びかけを図ることを目的に開催されています。

「おどらっかコンテスト」「フリーステージ」「市民総踊り」など踊りをメインに、「うめえぞ市」「中部みなとオアシス連絡協議会によるPR」「三ヶ日手筒花火保存会による手筒花火」など、大人から子どもまで楽しめるイベントが繰り広げられました。

また、今回で12回目となる「大井川港トライアスロン大会」を同時開催し、大井川港、大井川河川敷マラソンコース「リバティ」及び大井川港野鳥園を広くPRしました。今年は県内外から273人が集まり、そのタイムを競いました。



おどらっかコンテスト



大井川港トライアスロン大会



駿河湾の「世界で最も美しい湾クラブ」加盟記念 船と自転車で駿河湾を満喫するモニターサイクリングツアーを開催

静岡県港湾企画課

静岡県は、駿河湾の「世界で最も美しい湾クラブ」加盟を記念し、駿河湾を周遊するフェリーと、伊豆半島で盛んな自転車を活用した、新たな観光モデルプランを提案するモニターサイクリングツアーを開催しました。

参加者は、清水港から土肥港まで「駿河湾フェリー」に乗船し、雄大で波穏やかな駿河湾を眺めながら渡り、土肥港からはロードバイクに乗り換え、世界ジオパーク認定への期待が高まる伊豆半島の峠道約32キロを走行。最後は遊覧船に乗り込み、駿河湾上から変化に富み美しい地層も確認できる伊豆半島の海岸線や、漁船の行き交う情景を楽しみました。

船と自転車を組み合わせたコースが参加者に好評で、駿河湾の魅力や価値に気づいてもらうよい機会となりました。



フェリーを下船し、ロードバイクで出発



戸田港に泊まる遊覧船「ドリーム★スター」

浜名湖ミナトリング2017、初開催！

静岡県港湾企画課

地域住民の交流と観光の振興を通じた浜名港における「賑わいの創出」と「知名度の向上」を図ることを目的とし、県、湖西市、商工団体、金融機関及び民間団体等が一体となって『浜名湖ミナトリング2017』を平成29年7月29日(土)に初開催しました。

開会式は、地元高校生の進行のもと、地元園児による鼓笛隊の演奏などの演出が行われました。また、イベント開催中は、小型漁船の舟運体験、最新のプレジャーボート体験試乗、ヤマハ発動機ジュビロラグビー部によるラグビー体験、三遠ネオフェニックスによるバスケット教室、“働く乗りもの”の一般公開などが実施されたことで、目標を大きく上回る1,300名を超える方々にお越しいただき、浜名港を県内外の方々へ大きくアピールすることができました。

今後、県は、このような取組みをより一層拡大させ、地域の賑わいを生み出していく拠点として浜名港を活用し、地域が主体となった「交流の輪(皆とリング)」を拡げていきたいと考えています。



開会式



バスケット教室



プレジャーボート試乗体験

※「ミナトリング」とは、国土交通省が推進する「ミズベリング・プロジェクト」を参考にした造語です

清水港がイタリア・トリエステ港と姉妹港提携を結びました

静岡県港湾企画課

平成29年8月25日(金)、静岡県とイタリア国フリウリ=ヴェネチア・ジュリア(FVG)州との相互理解と友好親善を深めることの一環として、清水港とトリエステ港が姉妹港提携に係る覚書を締結しました。

清水港と海外の港との提携は、アメリカ・サバナ港との姉妹港提携、中国・青島港との友好港提携に続いて3例目になります。

今後は、両港の国際的協力関係の構築による港湾の利用促進や、クルーズ船等を活用した観光・文化交流の促進が期待されます。



調印の様子
(難波副知事(左)とトリエステ港管理公社理事長(右))



FVG州政府公館から望むトリエステ港

清水港のRORO船定期航路の拡充

静岡県港湾企画課

平成29年9月4日(月)、清水港-大分港のRORO船定期航路を運航する川崎近海汽船株式会社から、既存航路の増便と清水港と常陸那珂港を結ぶ定期航路の新設が発表されました(実施時期は平成30年3月)。

現在、清水港-大分港の定期航路は、北王丸1隻による週3便の運航となっていますが、勇王丸を加えた2隻体制とし、週6便の運航とするほか、清水港から常陸那珂港に向けて週1便の航路を新たに開設する計画となっています。

既存航路がデイリー運航されることによる利便性の向上のほか、北海道と定期航路を有する常陸那珂港と清水港が結ばれることにより、北は北海道から南は九州までRORO船定期航路による海上輸送ルートが形成され、集荷エリアがこれまでより大きく広がることが期待されています。

平成29年8月4日(金)、県は、国土交通省や地元自治体、民間物流企業等と「静岡県RORO船利用促進協議会」を設立しました。引き続き、官民連携によりRORO船の利用促進に取り組んでいきます。



本船 北王丸



静岡県RORO船利用促進協議会 設立総会

静岡県港湾振興会の県外港湾視察研修

静岡県港湾振興会では、平成29年11月13日(月)～15日(水)の3日間、会員団体等から15名が参加し、長崎県の佐世保港、長崎港、端島(通称 軍艦島)の視察研修を実施しました。

佐世保港では、佐世保港国際ターミナルにて、港の概要のほか官民連携による国際クルーズ拠点の形成、クルーズ振興などの取組について説明を受けました。地元消費の拡大に向けた取組として、ターミナル内の臨時観光案内所において、客層の言語に合わせて3名程度の「外国人観光客ウェルカムサポーター」を配置し、周辺の観光やショッピングの情報提供を行っています。クルーズ船の乗客のほか、船員にも利用され、喜ばれているとのことでした。

2日目の長崎港では、クルーズ船を受け入れている長崎港松が枝国際ターミナルを視察しました。ターミナルビルは、観光案内機能と屋上緑化された展望デッキを備えた第1ビルと、最大20ブースでの入国審査が可能なCIQ(税関・出入国管理・検疫)機能を持つ第2ビルの2棟となっています。第1ビル内外には、物販店舗も並んでいて、クルーズ船寄港時には、乗船客を中心に多くの買物客で賑わいますが、中国語での対応などに課題があるようです。長崎県の職員から、エクスカーションについても、大型ショッピングセンターでの買い物ではなく、地元ならではの史跡や文化体験などをしっかりと観てもらいたいとお話がありました。

当日は、大型客船「コスタ・セレーナ」が寄港しており、展望デッキから客船を間近に見ることができました。



長崎港松が枝国際ターミナル岸壁を見学
(客船「コスタ・セレーナ」寄港)

午後からは、長崎市内観光地を巡り、クルーズ船外国人観光客の誘致の取組について視察しました。クルーズ客は、平和公園、浦上天堂、原爆資料館などがある長崎市北部を訪れることが多いようです。外国語表記の施設内表示、案内板などの設置が進んでおり、当日も平和公園に多くの外国人観光客の姿がありました。

最終日は、外国人観光客にも人気の「軍艦島クルーズ」に参加しました。最盛期には、島内人口が約5,300人となり、当時の東京都の9倍もの人口密度にまで達した軍艦島でしたが、エネルギーの需要が石炭から石油に移ったことで、出炭量も人口も徐々に減少し、1974年1月に鉱山が閉山し、同年4月に無人島となりました。端島の発展と衰退の様子を感じることができました。

各視察先では、丁寧な説明をいただき、大変有意義な研修となりました。



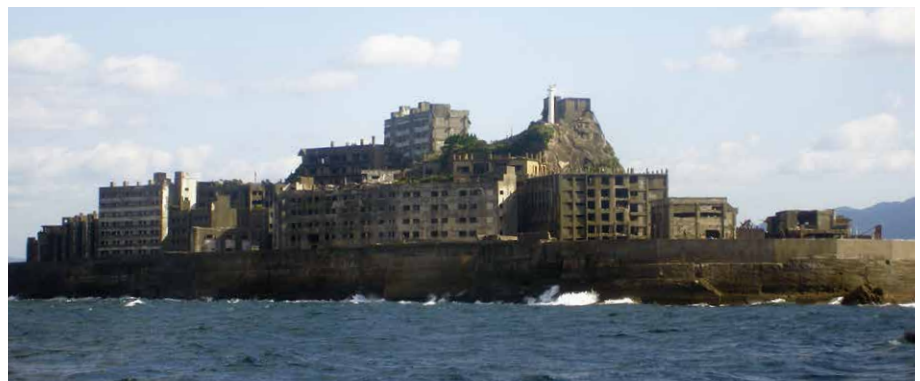
佐世保港国際ターミナル 概要説明



佐世保港三浦岸壁から「みなと交流エリア」を眺める



平和の泉(平和公園)



軍艦島

みなと“白慢”

牧之原市商工企業課
企業立地係



～自然と資源を生かした地域振興～

1. 御前崎港・榛原港・相良港の沿革

牧之原市は、昭和50年に重要港湾の指定を受けた御前崎港をはじめ、相良港、榛原港を有し、さらには富士山静岡空港、東名高速道路の相良牧之原インターが立地するなど、交通アクセスに恵まれており、陸海空での人・モノの交流が盛んな地域となっています。

御前崎港の背後には、自動車関連企業や楽器産業をはじめとする製造業の拠点を擁しており、中国、韓国、フィリピン航路及びシンガポール・マレーシア航路が就航するなど、県西部を中心とした物流拠点として機能しています。

相良港は、二級河川萩間川の河口に位置し、以前は商港として江戸と大阪の中継交易港として繁栄していました。

また、榛原港は、二級河川勝間田川の河口に位置し、古くは上納米の積出港として賑わっておりました。東海道線の開通等によって両港ともかつての物流による賑わいはなくなりましたが、松林や遊歩道の整備により、人々が触れ合える海岸環境が整備され、市民の憩いの場として親しまれています。



空から見た相良港



海王丸寄港(セイルドリル)

2. 御前崎港客船誘致協議会の発足

港湾の役割は物流機能だけでなく人々が交流する拠点であり、観光振興・地域振興にとって大きな期待が持てます。

そこで、平成28年9月21日に御前崎市とともに御前崎港客船誘致協議会を発足し、平成29年には海王丸、清龍丸を誘致しました。

海王丸の寄港は、2年ぶりとなりましたが、市内外より5万人が御前崎港に訪れ、海の貴婦人海王丸の美しさに魅了されたとともに、御当地グルメも堪能していただきました。

3. 2020東京五輪ホストタウン登録記念サーフィン大会の開催(榛原港)

榛原港は、全国的にも有名なサーフスポットの静波海岸を有し、小学生から高齢者、アマチュアからプロまでの多くのサーファーが技術の向上や趣味・レジャーとして楽しんでおります。

また、当市は、2020東京五輪のサーフィン競技中国ホストタウンとして内閣府から認定を受け、平成29年9月にはホストタウン登録記念アジアサーフィン大会を中国企業と合同開催し、国内外のプロアマ選手96名が参加し、熱戦が繰り広げられました。



ホストタウン登録記念サーフィン大会

4. 湊食堂

相良港は広大な駿河湾に面し、アジ、イカ、イセエビをはじめ

多品種の海産物がとれる豊かな漁場があります。しかし、食文化も多様化する中で海産物を消費する方々が減り、地域の魚屋も減少しております。

そこで、「豊かな駿河湾の恵みを次世代に伝えよう」をコンセプトに平成28年より「さがら湊食堂」を牧之原市商工会が開催しております。平成29年度は4月2日に開催し、1万人を超える人々がイセエビの味噌汁や海鮮丼を堪能いたしました。



5. 塩小屋

相良港では、かつて揚浜式塩法による塩づくりが盛んに行われ、日本最長最古の塩の道により、信州に入る塩は井川、森、秋葉山、水窪を経て南アルプスの秘境、西渡、明光寺峠等を越え、諏訪方面に送られていました。

相良港にある塩小屋では、現在も海水を汲み上げ塩釜で3日間かけて天然の“相良の塩”を作っています。



塩づくりの体験学習風景

6. 海水浴場

白砂青松の美しい静波海水浴場とさがらサンビーチは、遠浅で波が静かなため、家族連れでも安心して遊ぶことができます。また、草競馬やビーチサッカー大会、海上花火大会などのイベントも多数開催されています。最近では、サップやジェットスキーなどのマリンスポーツも盛んで年間を通してお楽しみいただけます。



海上花火大会風景

～港こぼれ話～

「地域の夢・ふじのくに 田子の浦みなと公園」



元静岡県交通基盤部
田子の浦港管理事務所長
桜井 孝洋

田子の浦港は、駿河湾の最奥部にあり、富士山麓の南を流れる沼川と潤井川の合流点に建設された「掘込式港湾」です。波浪条件が非常に厳しく、太平洋の荒波を直接受ける漂砂海岸であり、港湾の建設位置としては非常に厳しい条件でした。昭和33年に建設着手しましたが、工事は苦難の連続で、先人の方々の苦闘と当時の土木技術を結集し、ようやく着手から10余年の歳月と総工費130億円をかけて完成しました。その間、昭和36年8月に開港、39年に重要港湾、41年に関税法による開港の指定と、名実ともに国際港として順調に発展し、平成28年4月に開港50周年を迎え、11月には開港50周年記念式典を中央埠頭で盛大に催したところ です。

私と田子の浦港の関わりは平成15年度からです。当時の田子の浦港は、この港の宿命として年間を通し水深維持のため浚渫(年間約10万 m^3)を行っており、上流から流れ込む土砂と製紙工場からの浮遊物を含む排水が混じりあい底質土砂は黒っぽく、ヘドロ状で、そのまま外部に持ち出せるような状態ではありませんでした。浚渫後、陸揚げし水を切ってからダンプで港口部西側の富士地区海浜地(浚渫土処理場)に運搬し、浚渫土とセメントを混合して改良土にして盛土を行っていました。この処理場を整備するにあたっては、地元から浚渫土砂受入れの強い反対もありましたが、港湾の維持や港湾に関わる物流停滞の懸念などを踏まえ、また田子の浦地区のシンボルとなる緑地公園への期待から、何とか土砂を受入れてくれることに理解を頂きました。赴任した頃は浚渫土砂処理場の造成も終盤を迎え、その後の大規模な緑地を計画する段階にきていました。

平成16年度から子供たちも参加したワークショップ



「ふじのくに田子の浦港みなと公園」から富士山を望む

を行いながら、地域の方々とともに「田子の浦港みなとまちづくり基本計画」を策定し、シンボルタワー(富士山を眺望する展望施設)やディアナ号(地元ゆかりのあるロシア軍艦ディアナ号を模した施設)を位置づけしました。平成18年度から港湾環境整備事業により緑地整備に着手し、平成23年2月に「ふじのくに田子の浦みなと公園」の愛称が選定され、平成25年6月には展望広場・築山(高さ27m)の暫定供用を開始しました。

一方、地元では県からシンボルタワーの具体的な計画が示されず、築山で代替するののかとの不信感が大きくなってきた中、平成26年2月議会で「現状27mの築山を火の見櫓や風向計等工夫をして37.76m(富士山の1/100)であることをわかるようにしていく」との答弁があり、地元からシンボルタワーが火の見櫓になるのかと猛反発を受けました。

私は平成26年4月から10年ぶりに再度田子の浦港管理事務所勤務となり、4月1日の赴任した初日に策定委員会役員の方々が挨拶と陳情に来られ、何とか地域

の悲願である展望施設とディアナ号を一刻も早く整備して欲しいと懇願されました。私は57万㎡に及び浚渫土砂を受入れてくれた地元の苦渋の決断に思いを馳せ、何とか地元の思いを叶えてあげたいと強く感じましたが、県サイドは前向きな職員ばかりではなく、この築山で十分でありこれ以上の整備は不要との意見もあり前途多難な状況でした。

そんな中、遠藤栄県議（故人）が地元代表の役員の方々と「展望施設とディアナ号の早期整備」を知事に直接要望し、知事から「早期整備に努めていくが、整備にあたっては景観への理解を深めたいうえで施設設計を取りまとめていく」との回答を得て一気に施設整備が前進することになり、地元の方々は本当に良かったと大変喜ばれました。これもひとえに故遠藤県議の行動力、ご尽力によるものでしたが、平成28年11月の田子の浦港開港50周年記念式に出席された後、平成29年1月に急逝されました。まだまだ地元のために活躍して頂きたかったし、故人も同じ思いだったと思量します。とても悲しく残念なことであり地域にとっても大きな損失でした。故人の冥福を心から祈念いたします。

ディアナ号は、富士市博物館が所蔵している設計図により、実物の1/3規模の舟形構造で外観を設計し、施設内には展示室を設けディアナ号に関わる資料の展示を行うことにしました。展望施設は、地元からタワーや建物のような大規模な施設整備の要望がありましたが、予算確保が厳しい折、早期に整備を完了するという条件で、標高37.76mの展望箇所から田子の浦港を眼

下に富士山を展望できる施設として整備することになりました。

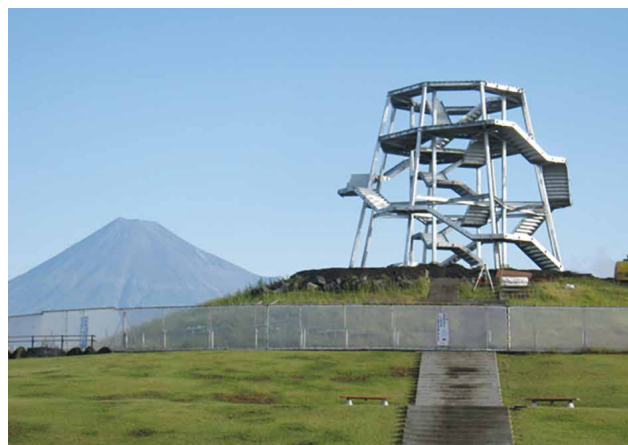
展望施設のデザインは、静岡文化芸術大学の空間造形学科に基本計画の作成をお願いしました。デザインを決定するまでに3回の知事協議を重ね、寒竹先生監修の下、学生の力が結集され、平成28年3月28日によりやく四重螺旋、頂八角形、地方天円の3つの基本デザインを融合させたデザインに決定しました。

現在のディアナ号と展望施設の状況です（写真参照）。ディアナ号は既に完成し、平成29年3月28日に竣工式を行い、展望施設は工事中（29年11月時点）ですが基礎と骨組みは出来上がり、苦心のデザインの全貌を鑑賞することができます。平成30年2月23日に竣工式（ふじのくに田子の浦みなと公園完成）を開催する予定と聞いております。地域の方々の思いがようやく実現することが本当に嬉しく、心からお祝い申し上げたいと思います。また、退職前の2年間に、この公園整備に携わったことは本当に良い思い出になりました。これからこの2つの施設が地域の方々に愛され公園のシンボルとなり、県内外から大勢の方々に訪れていただき、田子の浦産のシラスと相まって田子浦地区がますます賑やかになることを期待しております。

また、港口東側の鈴川海浜部でも地域の方々のご理解とご協力の下に、西側同様に浚渫土砂による盛土を行い公園整備を進めております。こちらの公園も一日も早く整備が完了することを心から願っております。



歴史的な教育施設「ディアナ号」



整備が進む、交流拠点施設「シンボルタワー」

港湾関係行事予定

(平成30年2月1日～平成31年1月31日)

日程	内容	日程	内容
毎月第1土曜日	海湖館朝市(湖西市)	7月21日(土)	網代ベイフェスティバル(熱海市 網代港)
2月17日(土)・2月18日(日)	網代温泉ひもの祭り(熱海市 長浜海浜公園)	7月24日(火)	堂ヶ島火祭り(西伊豆町 堂ヶ島公園)
2月24日(土)・2月25日(日)	第33回伊豆多賀わかめまつり(熱海市 長浜海浜公園)	7月27日(金)・7月31日(火) 8月5日(日)・8月8日(水)・8月19日(日) 8月24日(金)・8月30日(木)	夏季熱海海上花火大会(熱海市 熱海湾)
3月4日(日)	田子浦みなとマラソン大会(富士市 ぶじのくに田子の浦みなと公園)	7月下旬	静波海水まつり花火大会(牧之原市 静波海岸 榑原港)
3月9日(金)	客船「にっぽん丸」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月1日(水)～8月4日(土)	あたまビールまつり(熱海市 渚親水公園)
3月10日(土)・3月11日(日)	南熱海お宿グルメフェスタ(熱海市 長浜海浜公園)	8月4日(土)	第71回初島・熱海間団体競泳大会(熱海市 熱海湾)
3月12日(月)	客船「にっぽん丸」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月4日(土) 予定	御前崎みなと夏祭2018(御前崎市 マリンパーク御前崎)
3月17日(土)～4月5日(木)	風の花祭り(下田市 まどが浜海遊公園)	8月5日(日)	清水みなと祭り海上花火大会(静岡市 清水港)
3月31日(土)	客船「ノルウェー・ジャン・ジュエル」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月5日(日)	沼津千本浜トリアスロン大会、チームケンスカップトリアスロン駅伝大会(沼津市 千本浜)
4月2日(月)	客船「ノルウェー・ジャン・ジュエル」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月10日(金)	桜針祭の花火大会(伊東市 伊東海岸)
4月8日(日)	焼津みなとまつり(焼津市 焼津港内港)	8月10日(金)	さがら海上花火大会(牧之原市 さがらサンビーチ 相良港)
4月10日(火)	客船「フォーレンダム」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月12日(日)	伊豆多賀海上花火大会&ビールフェスティバル(熱海市 多賀湾)
4月12日(木)	客船「ダイヤモンド・プリンセス」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月14日(火)	焼津海上花火大会(焼津市 焼津港外港)
4月13日(金)	客船「スター・レジェンド」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月14日(火)・8月15日(水)	安良里夏祭り(西伊豆町 安良里港) 14日花火大会
4月13日(金)	客船「セレブリティ・ミレニアム」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月15日(水)・8月16日(木)	田子港祭り(西伊豆町 田子港) 15日花火大会
4月14日(土)・4月22日(日) 5月12日(土)・5月27日(日) 6月3日(日)・6月17日(日)	春季熱海海上花火大会(熱海市 熱海湾)	8月16日(木)	伊豆多賀温泉百八体流灯祭&ビールフェスティバル(熱海市 多賀湾)
4月15日(日)	客船「スター・レジェンド」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月16日(木)	網代温泉海上花火大会(熱海市 網代湾)
4月16日(月)	客船「セレブリティ・ミレニアム」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月16日(木)	客船「ダイヤモンド・プリンセス」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
4月21日(土)・4月22日(日)	自遊食環フェア 御前崎シーサイドピクニック(御前崎市 マリンパーク御前崎)	8月18日(土)～8月20日(月)	土肥サマーフェスティバル(伊豆市 土肥港湾内)
4月22日(日)	第42回さがら草競馬大会(牧之原市 さがらサンビーチ 相良港)	8月20日(月)～8月22日(水)	伊豆山温泉さざえ祭り&花火大会(熱海市 伊豆山浜特設会場/伊豆山港)
4月24日(火)	客船「フォーレンダム」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月31日(金)	【閉場式】静波海水浴場・さがらサンビーチ(牧之原市 さがらサンビーチ 相良港)
4月26日(木)	客船「ゴールデン・プリンセス」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	9月8日(土)・9月9日(日)	ビックシャワー海洋浴の祭典(下田市 吉佐美大浜海岸)
4月27日(金)	客船「ノルウェー・ジャン・ジュエル」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	9月17日(月・祝)	秋季熱海海上花火大会(熱海市 熱海湾)
4月28日(土)	客船「ゴールデン・プリンセス」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	9月27日(木)	客船「スター・レジェンド」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
4月29日(日・祝)	大井川港朝市(焼津市 大井川港)	9月29日(土)	客船「セレブリティ・ミレニアム」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
4月予定	ポータウンパーティ(沼津市 沼津港)	9月下旬	夕映えの響き(西伊豆町 宇久須港)
5月1日(火)～5月5日(土・祝)	第43回初島とこる天まつり(熱海市 初島港特設会場)	10月1日(月)	客船「セレブリティ・ミレニアム」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
5月3日(木・祝)	客船「スター・レジェンド」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	10月7日(日)	客船「ノルウェー・ジャン・ジュエル」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
5月3日(木・祝)～5月5日(土・祝)	なぶら祭り(御前崎市 海鮮なぶら市場)	10月上旬	大井川港釣り大会(焼津市 大井川港)
5月5日(土・祝)	相良風初詣句神事(牧之原市 さがらサンビーチ 相良港)	10月上旬	オータムフェスティバル(焼津市 焼津港内港)
5月7日(月)	客船「ノルウェー・ジャン・ジュエル」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	10月15日(月)	客船「セレブリティ・ミレニアム」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
5月上旬	御前崎灯台まつり(御前崎市 御前崎灯台)	10月15日(月)	客船「スター・レジェンド」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
5月12日(土)	沼津水産祭(沼津市 沼津魚市場 第一市場、INO)	10月16日(火)	客船「ウエステルダム」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
5月18日(金)～5月20日(日)	第79回黒船祭(下田市内各会場)	10月17日(水)	客船「スター・レジェンド」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
5月下旬	第8回御前崎みなとまつり(御前崎市 御前崎魚市場)	10月18日(木)	客船「アムステルダム」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
5月26日(土)	ぬまづ港の街BAR(沼津市 沼津港ほか)	10月下旬	小川港さば祭り(焼津市 小川港)
6月30日(土)	【海開き】静波海水浴場(牧之原市 さがらサンビーチ 相良港)	10月予定	ライジングサマフェスティバル(沼津市 沼津港)
7月1日(日)	【海開き】さがらサンビーチ(牧之原市 さがらサンビーチ 相良港)	11月8日(木)	客船「セレブリティ・ミレニアム」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
7月14日(土) 予定	御前崎海水浴場海開き(御前崎市 マリンパーク御前崎)	11月11日(日)	客船「セレブリティ・ミレニアム」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
7月15日(日)	踊夏祭トリアスロン大会(焼津市 大井川港)	11月11日(日)	千本浜ファミリーマラソン大会(沼津市 千本浜防波堤)
7月15日(日) 予定	マリンスポーツフェスタ(御前崎市、牧之原市 御前崎マリーナ)	11月18日(日) 予定	田子の浦ポートフェスタ2018(富士市 田子の浦港)
7月中旬	田子浦みなと祭り(富士市 ぶじのくに田子の浦みなと公園)	11月予定	第8回御前崎マリンパークマラソン(御前崎市 マリンパーク御前崎)
7月中旬	国際カジ釣り大会(下田沖)	12月8日(土)	客船「ダイヤモンド・プリンセス」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
7月中旬	マリンフェスタ(下田市内)	12月9日(日)・12月16日(日)	忘年熱海海上花火大会(熱海市 熱海湾)
7月中旬	白浜海の祭典・花火大会(下田市・白浜大浜海岸)	12月22日(土)	とっておき冬花火大会(伊東市 伊東海岸)
7月20日(金)	海の日海上安全祈願祭(富士市 田子の浦港)	平成31年1月1日(火・祝)	初日なぶらイベント(御前崎市 観光物産会館)
		平成31年1月1日(火・祝)	静波海岸・さがらサンビーチ初日の出(牧之原市 さがらサンビーチ 相良港)

編集後記 |

新春のおよこびを申し上げます。

平成29年度の県外港湾視察に同行させていただきました。軍艦島は、天候と安全基準を満たさないと上陸できない場合があると聞いていましたが、天候にも恵まれ、無事に上陸することができました。本当に良かったです。

本年も例年以上に、当振興会及び東海地区港湾協議会活動に積極的な参加をよろしく願いいたします。(K.H.)

当会では、会報誌面充実のため皆様からの港に関する情報やニュース・寄稿をお待ちしています。

関係団体の活動、イベントPRなど…どんな些細な事でも構いません。詳しくは下記連絡先までご連絡ください。

静岡みなと通信

編集・発行 静岡県港湾振興会

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部港湾局内

TEL.054-221-3052 FAX.054-221-2389 E-mail:shizu.kouwan@gmail.com